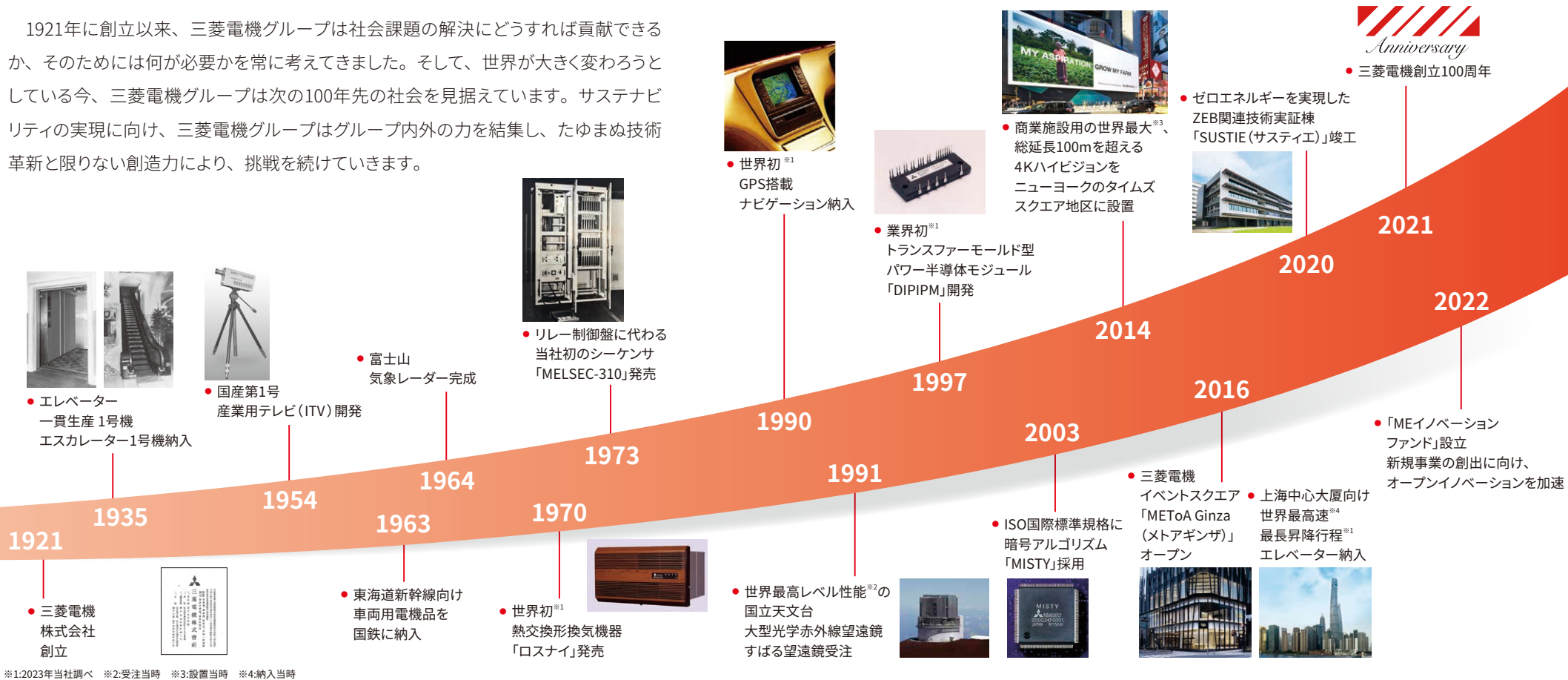


三菱電機グループの歩み

1921年に創立以来、三菱電機グループは社会課題の解決にどうすれば貢献できるか、そのためには何が必要かを常に考えてきました。そして、世界が大きく変わろうとしている今、三菱電機グループは次の100年先の社会を見据えています。サステナビリティの実現に向け、三菱電機グループはグループ内外の力を結集し、たゆまぬ技術革新と限りない創造力により、挑戦を続けていきます。



2022年度のトピックス

Topic 1

需要増加が見込まれるインドのFA制御システム製品の事業拡大に向け、インドの製造・販売拠点であるMitsubishi Electric India Pvt. Ltd.に約31億円を投資し、FA制御システム製品の新工場を建設。



Topic 2

ZEB (net Zero Energy Building) 関連技術実証棟「SUSTIE (サスティエ)」(神奈川県鎌倉市)が、建物環境を評価する国際的な認証であるWELL Building Standard (WELL認証)の最高ランクの「プラチナ」を取得。



Topic 3

SiC^{※1}パワー半導体の生産体制強化に向けた新工場棟の建設をはじめ、パワーデバイス事業における2021年度から2025年度までの累計設備投資を従来計画^{※2}から倍増させ、約2,600億円を投資。

※1 SiC: Silicon Carbide (炭化ケイ素)
※2 従来計画は約1,300億円



Topic 4

気象庁から「次期静止気象衛星(ひまわり10号)」を受注。「ひまわり7号」から4基連続。20年続くわが国の気象衛星事業への貢献で培った知見を最大限に活用し、近年国内で甚大な被害をもたらしている台風や集中豪雨、線状降水帯の予測精度向上や、防災気象情報の高度化など、わが国の防災機能強化に貢献。

